

## 社会調査実習「最終報告会」(続)

4月10日、雨のなか久しぶりに名市大に行った。2014年度社会調査実習最終報告会に参加するためである。最後に講評コメントを頼まれているので、早めに行って602セミナー室で報告書に目を通した。ここは長年にわたり愛用していたので、やはり落ち着く。80ページ前後の5冊の報告書をざっと見て、コメントのためにメモしていると、すぐに時間が過ぎた。やはり緊張気味であったかもしれない。

会場は懐かしの201教室である。報告会のタイムスケジュールは写真のようであり、2時間余りメモを取りながら、集中してプレゼンを聞いた。講義している時はあまり感じなかったが、こうして椅子に座って聞いているのも結構しんどいものだ。腰痛の身にはつらい。

5本の報告のあと、最後に私の「講評」となった。会場が寒く、かなり疲れていたが、せっかくの「出番」なので張り切って話した。すでにレポートに書いたように、この日のために原稿を用意していた。

退職2年目の今年は、挨拶は「もうインカレ」と思っていたと、原稿通りに喋った。インカレとは、毎年秋に行っている「社会調査実習インターカレッジ報告会」の略である。毎年のようにダジャレに使わせてもらっているが、今回も「大うけ」であった。そろそろ「もうインカレ」かもしれない。

当初の原稿では、「全体として良い出来だった」と評価していた。だが、報告を聞いていて、これではまずいと考えて、「辛口コメンテーター」として注文をつけた。貴重な調査データや資料が十分に分析されず、突っ込み不足であると指摘した。

実習への注文より「辛口コメンテーター」という言葉に反応があった。この言葉は10年前にCBC「ニュースな日曜日」にスタジオ出演した時に、キャスターが「命名」してくれたものだ。久しぶりに学生の前で話したが、「講評」はあんがい「好評」のようで、ほっとした。やはり学生の前で話すのは、長年の経験からか元気が出るものだ。また機会があれば、ぜひ学生たちに語りかけたい。退職2年目になって、学生の「ありがたさ」をますます感じている。

(2015年4月13日)

## 現代社会学科社会調査実習 2014年度学内最終報告会

2015年4月10日(金) 16時20分~18時30分  
於・山の畑1号館(人社棟)201教室

★みなさまのご来聴を歓迎いたします★(無料)

16:20	開会のあいさつ(藤田先生)
16:30	林班 名古屋市中心市街地の開発政策と「駅西」商業地区の変動
16:50	安藤班 高校卒業後の友人ネットワークと地域・コミュニケーション手段の影響
17:10	菊地班 育休と女性のライフコース
17:30	休憩
17:40	藤田班 学生生活の費用負担のあり方とアルバイト
18:00	飯島班 ESDと地域メディア タカニュースの特集から見る地域の持続可能性
18:20	講評(山田先生)・閉会